

動画機能付携帯電話利用実態に関する調査

**動画メール、男性は「撮影し、送る楽しみ」、
女性は「受信する喜び」**

～動画機能付携帯電話は新しいコミュニケーションツールとして活躍～

動画メール送信対象は「家族」

動画機能利用頻度は2人に1人が「週に2～3回」

KDDIでは、動画機能付携帯電話を所有し動画機能・動画メールを楽しんで利用しているユーザー400人を対象に「動画機能付携帯電話に関する調査」を実施しました。

動画機能付携帯電話の購入理由として「最新機種を選んだ」が最も多く、次いで「動画メールを送受信したい」という回答があげられています。このほかにも「家族と同じ動画機能付携帯電話を購入」、「子供と同じ携帯電話を購入し使い方を教えてもらう」という回答もあり、通話やメールだけでなく携帯電話そのものがコミュニケーションの一役を担っているようです。

動画機能の利用実態については「週に2～3回」という回答が5割を占めトップ。世代別にみると、年齢が上がるにつれ利用頻度は減少し「月に2～3回」の割合が高くなりますが、おしなべて利用頻度は高いといえるでしょう。

動画撮影対象は約4割が「家族」、約3割が「友人」と回答しており、世代別に見ると、10～20代では「友人」、30～40代は「家族」の割合が高くなっています。40代にみると「ペット」が「友人」より多く、子供の手離れやペットブームを反映しているといえます。

動画メール送信対象も「家族」との回答が約4割と高い割合です。また、動画メール受信について男性は「メッセージが伝わりやすい」、女性は「文字だけのメールやフォトメールよりうれしい」との回答が多く、男性は動画を「撮る楽しみ」とメールを「送る楽しみ」を、女性は「受信する喜び」を感じているようです。

同様の調査を動画機能付携帯電話購入意向者に対しても行っており、ここでも動画撮影対象および動画メール送信対象は「家族」と約4割が回答、動画メールに対してのイメージも「文字だけのメールやフォトメールよりもおもしろそう」と回答しています。

動画機能付携帯電話は、通話・メール・写真と並ぶ新しいコミュニケーションツールとして活躍・期待されているといえます。

調査概要

有効回答者数:400 人

調査対象:動画機能付携帯電話を所有し動画機能・動画メールを楽しんで利用する

ユーザー 10 歳代、20 歳代、30 歳代、40 歳代の男女各 50 人

調査方法:インターネット調査

調査地域:全国

調査期間:2003 年 6 月 9 日～11 日

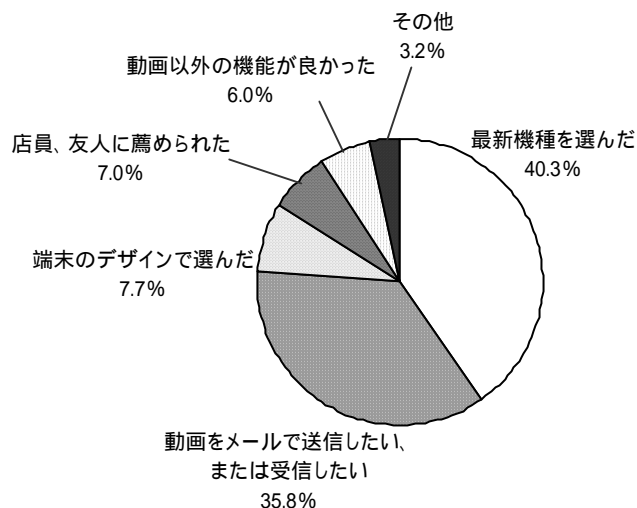
【詳細結果】

動画機能付携帯電話の購入理由 - 「最新機種を選んだ」、「動画メールを送受信したい」

動画機能付携帯電話の購入理由を聞いたところ、「最新機種を選んだ」が 40.3%、「動画をメールで送受信したい」が 35.8% でした。最新機種に搭載されている新しい機能、主に動画機能を使いたいという理由が購入につながっているようです。

この他では「夫婦で動画機能付携帯電話を購入」、「子供と同じ携帯電話にして使い方を教えてもらう」という回答もあり、操作方法を教える人がいるか否かということも購入に影響しているようです。

Q.お持ちの機種(動画対応機種)を選んだ一番の理由は？(単数回答)



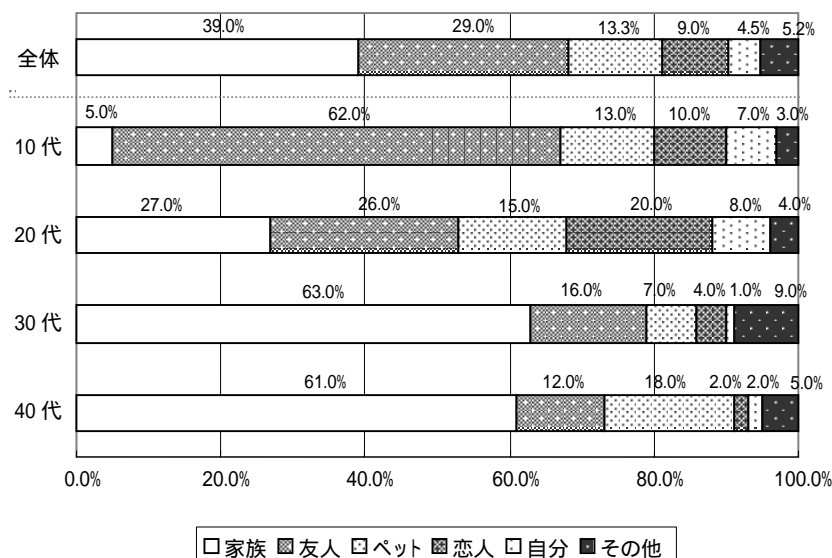
動画撮影の対象、39.0%が「家族」を撮影

動画メール送信の対象は 10～20 代は「友人」、30～40 代は「家族」が中心
撮影した動画は「コミュニケーションの手段」として利用

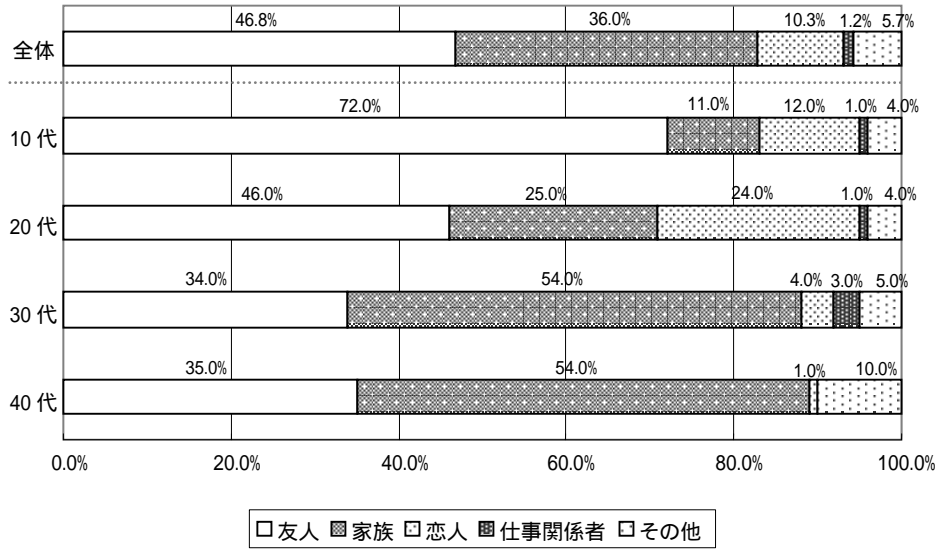
動画撮影で主に何を撮影するかとの質問に対し、39.0%が「家族」、29.0%が「友人」と回答、また、メール送信対象については 46.8%が「友人」、36.0%が「家族」と回答しています。世代別に見ると、撮影・送信対象ともに 10 代は「友人」がトップ、20～40 代では結婚による環境の変化から「家族(特に子供)」を撮影する機会が増え、自分自身で楽しむためと両親や親戚に子供の成長を動画メールで報告する傾向があるようです。

Q.動画機能で主に何を撮影しますか？(単数回答)

なお、撮影対象について 40 代では「家族」に次いで「ペット」の割合が高く、子供の成長による手離れと最近のペットブームを反映しているといえます。その他に「風景」「街で見かけたおもしろいもの」などを撮影するという回答もあり、偶然的出来事やそのときに興味を引いたものが撮影の対象となっています。

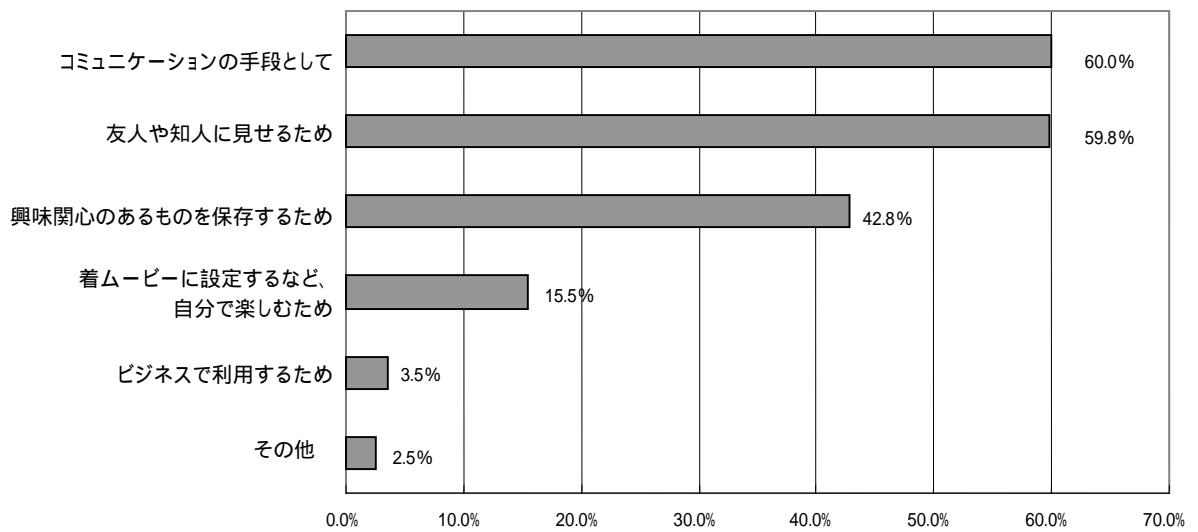


Q.最も動画メールを送る相手はどなたですか？(単数回答)



動画機能をどのように楽しんでいるかとの質問に対しては、約6割が「コミュニケーションの手段」「友人や知人に見せる」楽しみがあるようです。中には「家族を撮って家族で見る」や「HPにアップする」、「静止画撮影で十分であるものを動画で撮影している」(その他回答)という回答もあり、コミュニケーションのきっかけとして、また、その場の雰囲気や臨場感を伝えるツールとして浸透しているようです。

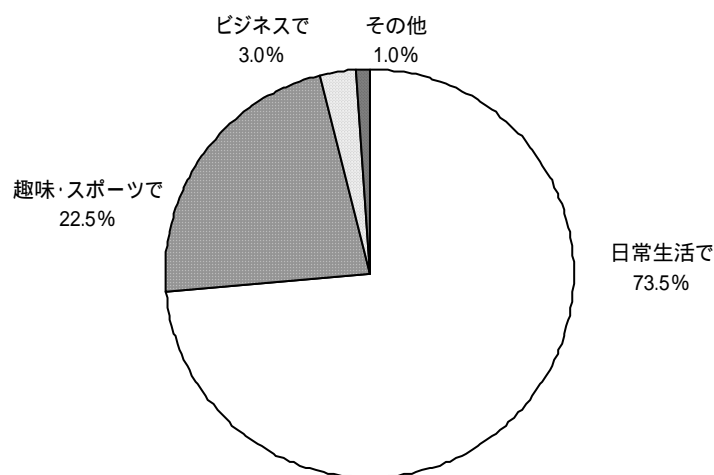
Q.動画機能をどのように楽しんでいますか？(複数回答)



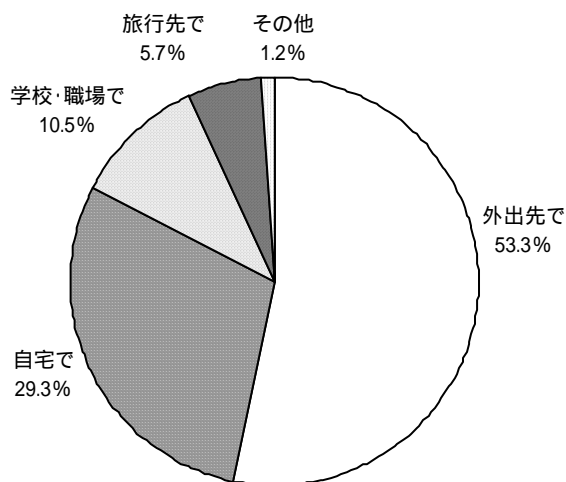
動画撮影のシーンは「日常生活」、撮影場所は「外出先」が中心

どのようなシーンで動画を撮影するかという質問に対し、73.5%が「日常生活」、2位の「趣味・スポーツ」(22.5%)と大きく差をつけています。また、撮影場所については「外出先で」が最も多く53.3%、次いで「自宅」が29.3%という結果が得られました。その他では「デート」や「カラオケ」など目的のある撮影もありますが、日常生活において偶然の出来事や興味関心のある出来事を咄嗟に撮影するケースが多いことが伺えます。

Q.主にどのようなシーンで動画を撮影しますか？(単数回答)



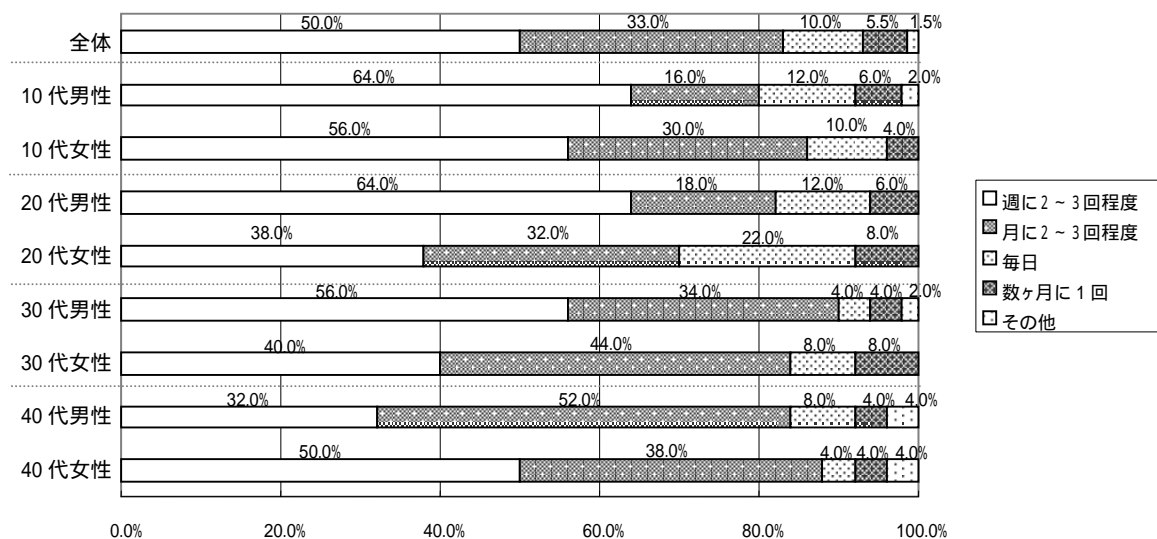
Q.主にどのような場所で動画を撮影しますか？(単数回答)



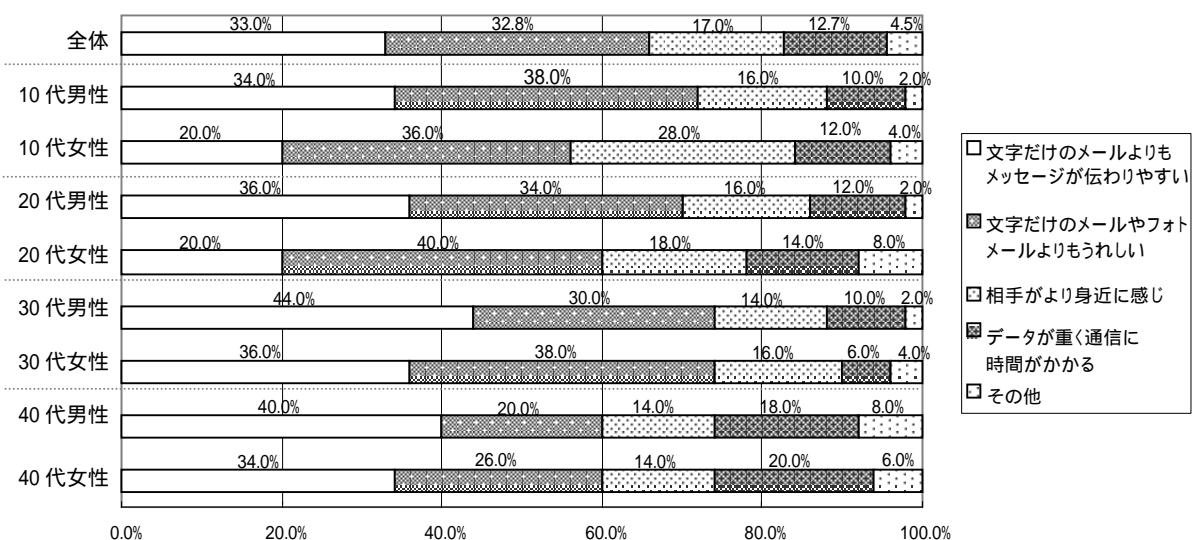
動画機能利用頻度は「週に2~3回」、男性の利用が多い
 男性は「送る楽しみ」、女性は「受信する楽しみ」
 動画メールは「うれしい」、「メッセージが伝わりやすい」

利用の実態については5割が「週に2~3回」と回答、世代別に見ると、年齢が上がるにつれ「月に2~3回」の割合が高くなりますが、おしなべて利用頻度は高いといえます。週に2~3回以上利用している割合は意外にも女性よりも男性のほうが高く、動画メールを受信した時の感想として「文字だけのメールよりもメッセージが伝わりやすい」との回答も多くみられます。気軽に撮影でき簡単な操作でメールも送れるため、動画は「筆不精」の男性にとって便利なコミュニケーションツールであるようです。反対に女性は「文字だけのメールやフォトメールよりもうれしい」という割合が高く、動画メールを送信するより受信することを楽しみにしているようです。

Q.動画機能・動画メールの利用頻度はどれくらいですか？(単数回答)



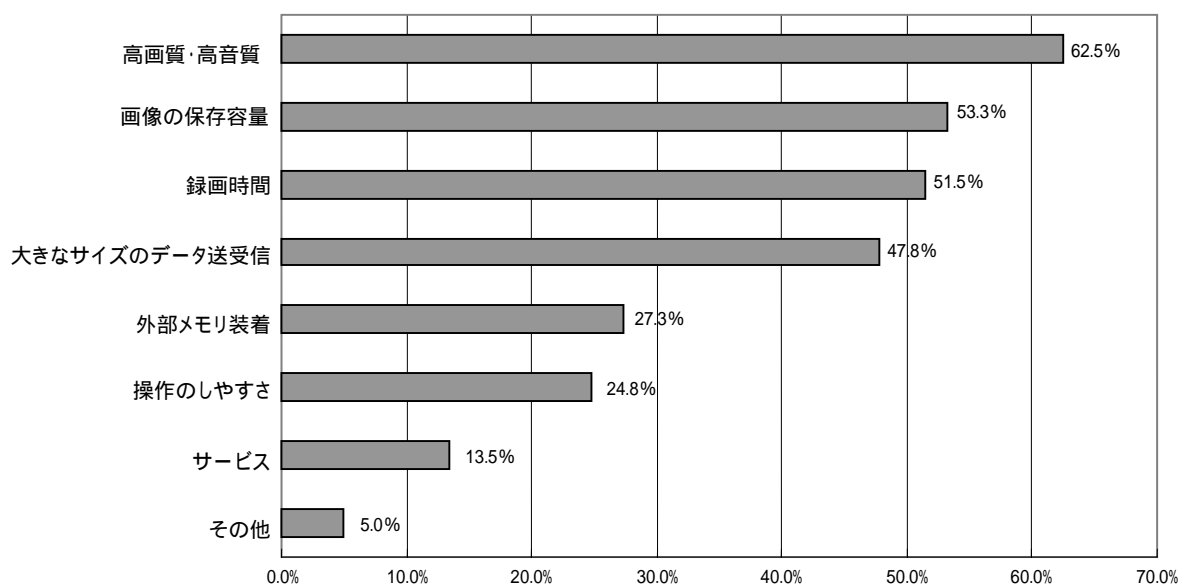
Q.動画メールを受信したときの感想(または送った相手の反応)を教えてください。(単数回答)



今後の動画機能・動画メールに期待することは「高画質・高音質」、「画像の保存容量」

今後の動画機能・動画メールに期待することは、6割以上が「高画質・高音質」と回答しています。本来の機能である通話から動画撮影へと多機能化してきた携帯電話ですが、今後は動画機能の中でも「質」に期待、こだわりをもち、さらなる進化を望んでいるようです。

Q.今後の動画機能・動画メールに期待することを教えてください。(複数回答)



【参考資料】

動画機能付携帯電話購入意向者 400 人に対しても「動画機能付携帯電話に関する調査」を実施いたしました。

傾向としては、動画機能付携帯電話所有者の利用実態と大きな差は出ていませんが、動画機能はコミュニケーションツールとして期待は大きいものの、一方では料金や通信に対する不安感もあるようです。

調査概要

有効回答者数: 400 人

調査対象: 動画機能付携帯電話購入意向者

10 歳代、20 歳代、30 歳代、40 歳代の男女各 50 人

調査方法: インターネット調査

調査地域: 全国

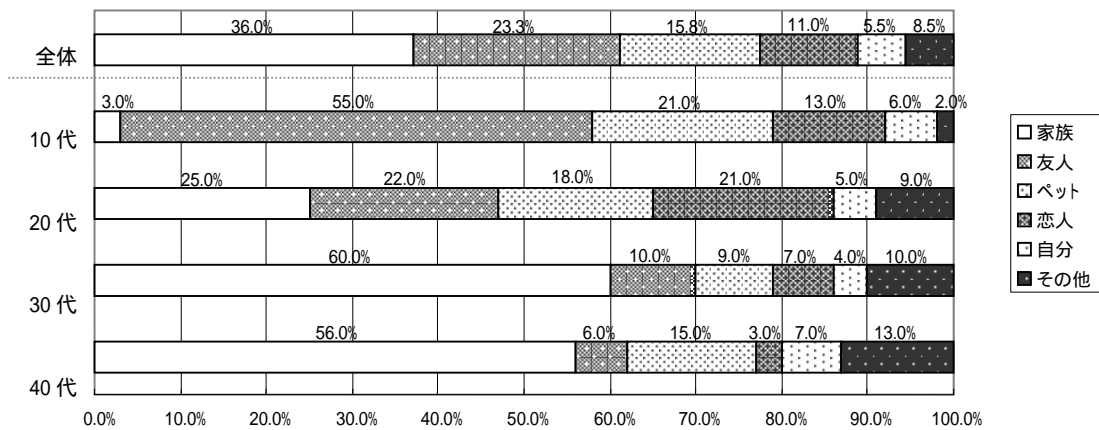
調査期間: 2003 年 6 月 9 日 ~ 11 日

もし、動画機能付携帯電話を購入したら…。

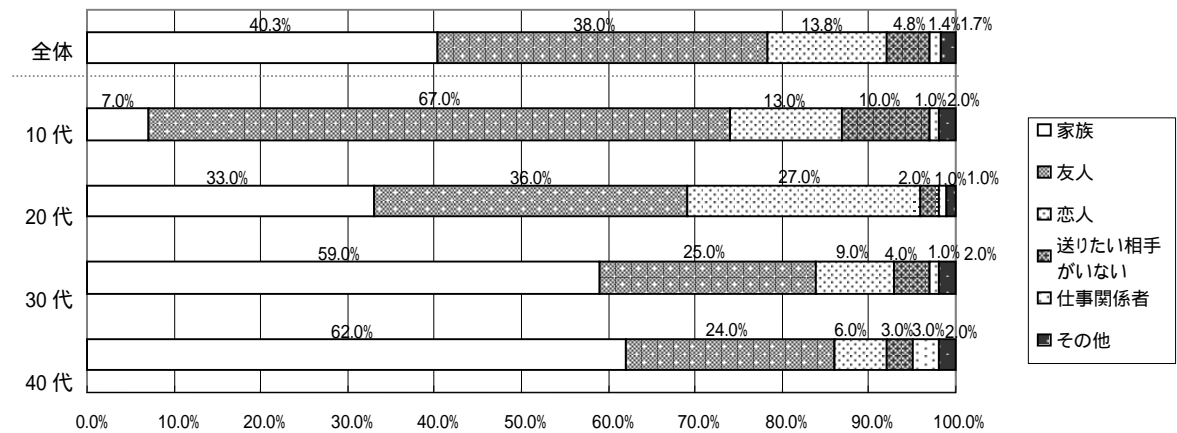
動画で撮影したい、動画メールを送りたい対象 約4割が「家族」
撮影した動画は「コミュニケーションの手段」として楽しみたい

動画で何を撮影したいかという質問に対し、36.0%が「家族」、23.3%が「友人」と回答、「ペット」も15.8%と健闘しています。世代別に見ると、動画機能付携帯電話保有者と同様の傾向がみられ、10～20代は「友人」・「恋人」、30～40代は「家族」がトップ、40代では「ペット」の割合が高くなっています。また、真っ先に動画メールを送りたい相手も「家族」がトップで40.3%、友人が38.0%で2位につけています。

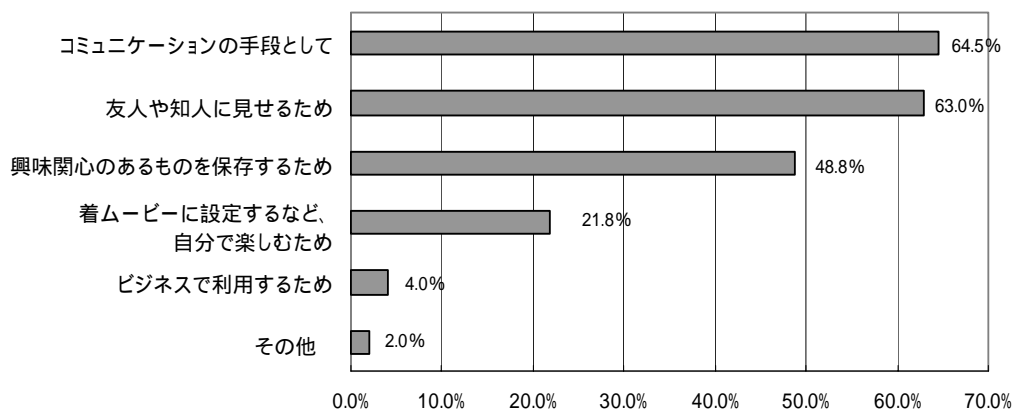
Q.動画機能で主に何を撮影したいですか？(単数回答)



Q.真っ先に動画メールを送りたい相手は誰ですか？(単数回答)



Q.動画機能をどのように楽しみたいですか？(複数回答)

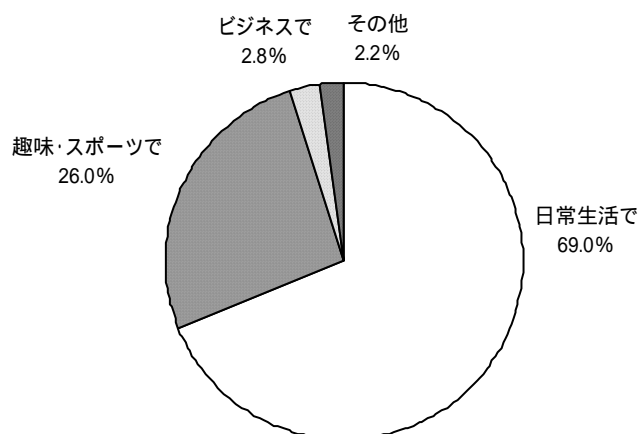


もし、動画機能付携帯電話を購入したら…。

動画撮影のシーンは約7割が「日常生活」、撮影場所は5割以上が「外出先」と回答

想定される撮影シーンは「日常生活」が最も多く69.0%、次いで「趣味・スポーツ」での目的ある撮影が26.0%を占めています。撮影場所については「外出先」が54.0%で最も多く、次いで自宅が21.0%となっており、男女別にみると男性は「外出先」に続き「旅行先」とアクティブ傾向、それに対して女性は2位に「自宅」の割合が高く、結婚を機会に子育てや家事があるためインドア傾向にあるようです。

Q.主にどのようなシーンで動画を撮影したいですか？(単数回答)



Q.主にどのような場所で動画を撮影したいですか？(単数回答)

